

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	家庭的な共同生活の場において、入居者の皆様の主体性を大切にし、心豊かな生活が送れるよう、地域の交流を大切に暮らすことができるよう独自の支援を理念としている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	毎朝礼時、理念の唱和を実施し、運営方針や目標を話し合い理念の実施に取り組んでいる。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	家族や地域の方々に折に触れ独自の理念を説明し、また、ホームの見やすい場所にも掲示し理解してもらえよう努力している。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	近隣の保育園児、住民の方々の散歩時、庭先などで挨拶や会話を楽しみにし、馴染みの関係をきずいている。朝夕犬の散歩をしながら立ち寄ってくれ、日常のコミュニケーションも取れている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	隔月双葉ニュースを発行し、地域に回覧したり、各種ボランティアの受け入れやハーモニカ等の演奏など地域の方々の協力を仰ぎながら交流を深めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6 事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>銚子市包括支援センターへの協力として、施設入居者の対応マニュアル作成の参加、中学生の体験学習授業の受け入れも行っている。</p>		
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員でのミーティングを実施しながら、自己評価票の作成し、評価の意義を理解していると共に日ごろの業務に対する気づきを大切にしている。</p>		
<p>8 運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業報告をはじめ、意見交換や勉強会を行い、サービスの質の向上と地域に根ざした施設づくりに努めている。</p>		
<p>9 市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の包括支援センターが開催する地域ケア会議や研修に参加し、常日ごろから連携を図っている。また、介護保険に関することや虐待等の諸問題に対し、市と共同して検討している。</p>		
<p>10 権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>公的機関開催の講習会参加、県の開催する研修会等にて必要性、活用法を学び、成年後見人を介し支援している。</p>		
<p>11 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設部会の推進会への参加及び、県の開催する研修会等で全職員に学ぶ機会を持ち、事業所内での防止に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、解約時は、利用者や家族にわかりやすいように各種専門スタッフが共同で説明し、不安、疑問点を尋ね納得のいくようアドバイスするなど十分な理解、納得を常に図っている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見、不満、苦情等を個別に話しあう機会も設けたり、外部者への相談にも応じる機会も設け運営に反映させている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時や電話等で日常生活状況、金銭の報告を行い、金銭においては定期的に確認して押印をいただいている。双葉ニュースにて暮らしの一面を知らせ、職員の異動等は文書にて報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設け、アンケートの意見、要望等を定期的に支援に反映させ、他事業所の支援専門員等への相談も促し、運営に反映させている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>週1回運営者を交えての会議があり、意見や提案は直接話す機会があり、常に運営に反映させている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>急な利用者、家族への対応ができるよう常に配慮し、職員各自の予定も相談しながら勤務調節している。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員からの伝達や、併設している小規模多機能に勤務する馴染みのある職員の応援等で勤務体制を図り、ケアに支障の無い様配慮している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域で開催する研修及び、毎月1回実施する院内研修などに職員全員で参加し、質の向上に努めている。必ず研修報告を職員間で行い、情報の共有に努めている。各種資格取得支援もあり、通院教育等、各種講座への受講支援も充実している。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域部会やネットワークを通じて、意見交換や勉強会に参加し、困難事例の問題等を共有しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時、各自の時間を持てるよう休憩室も別棟に設け、プライベートな環境の構築に配慮している。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各種研修会や講習会への参加、資格取得に向けての支援体制は充実している。各自の向上心を常に大事にし、幅広い実績評価をしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から利用にいたるまで、本人の困っている事や不安などに穏やかに傾聴し、本人に添えるよう話しやすい環境に努めている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	来訪時や電話相談等にも、全職員が時間をかけて傾聴し、困難事項、今一番求めているものなど、受けとめるよう日々努力している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に提供票等を参考にしながら、本人、家族ともその時何を必要とするしているのかを見極め、時には、他のサービス利用をアドバイスできるよう対応している。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が無理なく自然に参加できるよう見守りながら、その場の雰囲気に馴染めるよう体制を整えている。家族とも頻繁に相談しながら配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除、食事の後片づけ、乾いた洗濯物のたたんだり、一緒に作業しながら、日常生活の中でのこまかい相手への思いやりや、人生経験豊かな各自の個性にふれ時に学び、心を寄せる。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	支援困難時、家族の方々にもホームに出向き、協力いただいている。第3者も交えた家族の会の開催も築いている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用以前にわだかまりのあった家族同士が気軽に訪問、共に外出、外食したりする場面もあり、近況報告をしながら交流の支援をしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の訪問も気軽にあり、一緒にお茶を飲みながら談話していられる。その時々を有意義に過ごせるよう、馴染みの関係が途切れないよう配慮している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	世話役の得意な方にうまく力を発揮していただき、お互い気分を引き上げてくれる場面をつくったり、入居者同士の関係や力のバランスを活かしながら支えあえるよう配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院時もお見舞いがてら来訪したり、家族の相談等にも応じている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを活用して本人の意向を的確に把握するよう全職員で情報を共有して検討している。日々の体調や気持ちの変化に合わせた意向の汲み取りができるよう家族とも連携しながら対応を検討している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族の連携から経験や生活歴を把握し、その人らしい暮らしや尊厳を支えていけるよう努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりに日々の流れを総合的に判断し、支援できるように常に職員間の情報共有に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	来訪時や電話等で可能な限り、家族、知人等の思いや、望みを取り入れ、職員全員で意見交換しながら作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員間の日常の気づきを大切にし、主治医等、必要な関係者とも連携を取り、新たな計画を作成している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に全職員が目をとおり、新しい情報を共有しながら日々の支援に活かし、介護計画に取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々要望に対し、各分野からの専門スタッフのアドバイスも受け柔軟な支援に努めている。併設している小規模多機能ホーム双葉との交流や共同支援により生き生きとした生活が送れるよう図っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者の生活が安定できるよう各分野からの協力が得られるよう働きかけ支援に活かしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性に応じ他のケアマネジャー、介護サービス事業者と話し合い、本人、家族の意向に対応している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは、綿密な連携を取り、成年後見人制度への支援を協働している。困難事例の家族に対しても同様に長期的に協働している。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診日には職員も同行し、適切な医療を受けられるよう支援している。		

【千葉県】グループホーム 双葉

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に詳しい医師との連携を取り個別に受診支援を行っている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護ステーションとの協働の基に、地域の看護職員との連携もとれ気軽に相談しながら支援している。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>常に体調面や機能低下に留意した連携体制は整っており、今後の変化に備え十分検討し、医療・介護支援に取り組んでいる。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>折りにふれ家族、医師、職員、第三者等で話し合いケア対策方針を共有している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>日常生活での変化や体調に注意し、機能低下等の連携体制に取り組み、重度化対応ケア指針の取り組みも行っている。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>現在は事例としては有りませんが、そのような時は、本人の意向を尊重し、家族との相談の基決定された事項には情報共有にも協力し、多方面の配慮をしていく。</p>		<p>本人の意向を尊重し、家族との相談の基決定された事項には情報共有にも協力し、多方面の配慮をしていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの気持ちを大切に、非現実的な言動や誇大な文言も受けとめ、静かに傾聴し寄り添う姿勢で対応を心がけ、記録等の記載にも損ねるような事項はありません。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人が無理なく自然に表現できるよう支援している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の大切な時間を楽しく過ごせるよう、本人にとって何が優先順位なのかを配慮している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>3名は馴染みの店へ家族と共に行き、他の利用者は本人の希望する髪型などに沿えるよう美容師の配慮をしている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>トレー拭きを得意とする方、テーブル拭きを得意とする方等、本人の力量にあわせ協働で行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お酒・タバコをたしなむ方は居らず、甘味物を好む方が多数なのでおはぎ、みたらし団子、甘酒等を一緒つくり楽しむこともある。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>全職員が一人ひとりの排泄パターンを把握し、習慣を活かし、気持ちよく排泄できるよう常に心掛けている。おむつの必要な方には、職員間で正しいおむつの使い方を学びあい、職員が納得、理解し、条件にあった使用を支援している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>職員と利用者の相談のもと希望に沿うよう柔軟な対応を実践しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>時々々の状況に応じ、安心して気持ちよく休息、睡眠が取れるよう寄り添ってみたり試行錯誤しながら、支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>本人の残存能力を引き出せるよう午前中の体操の実施、歌や家事参加等日々の生活に活性化に配慮する支援をしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人力量に応じ、家族とも相談し、支援している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は体調も見ながらなるべく散歩に同行し、外の草花に目を細め、行き交う人々と会話したりする。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>初詣やお花見など企画して外出したり、家族と共に自宅に立ち寄りたり馴染みの場所への外出に支援している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設内にはピンク電話が設置されており家族に電話で話している。ポストも設置してあるので代理投函もできる。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	日中は何時でも気軽に訪問できるよう配慮しているので馴染みの方々が訪れている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束の正しい理解にむけ常に学び実践しているのでまったくない。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛ける弊害を全職員が理解しており、チャイム等の設置により日中鍵を掛けない生活支援を心掛けている。居室には鍵はつけていない。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげない見守り体制の徹底により安全に暮らせるよう配慮している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	全体に気を配り、各自の価値観や状態に応じ、保管、管理支援を行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	対応マニュアルの整備も行っていますが、徘徊自己対応は、繰り返し全員で復唱し、防災訓練、転倒自己防止研修にも積極的に取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変患者対応、事故発生時対応等のマニュアルがあり、日頃から高齢者の身体的特徴の把握・自己対応等の職員研修を実施し、応急手当、初期対応の訓練を定期的に行っている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備え消防署や近隣の協力も得ながらシュミレーションを行い、定期的に訓練している。特に夜間人手不足時の対応に近隣の協力を得られるよう運営推進会議や双葉ニュースの回覧等を活用している。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクを家族に説明しその上で安全且つ自由な暮らしを大切にされた対応策を相談している。又、事前指定書等の取り組みも行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	「いつもとちょっと違う」と気付いた際は、介護員だけの判断ではなく速やかに看護師、医師に連絡し、これまでも何度も対応してきました。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	高齢者は罹患率が高いため、複数の服薬ケースが多く、職員は各自の服薬の目的、副作用、用法、用量について専門分野と連携し服薬支援に努めている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な水分の摂取、十分な食物繊維の摂取に留意し、適度な身体を動かす働きかけをしながら便秘予防に取り組んでいる		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のうがい、義歯の洗浄等、口腔内の清潔に注意を払い、誤嚥性肺炎の予防にも取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	他事業所の栄養士からの支援もありバランスのとれた献立に配慮し、食べやすい形に工夫している。水分補給は各自の状態を把握しながら摂取に配慮している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	保健所、医師、栄養士、銚子市の指導による感染予防マニュアルも整備され、実行している。外部からの訪問者にも手指の消毒、うがい等励行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	系列事業所の管理栄養士の定期的に徹底した指導もあり、安全管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に季節の花を欠かさず飾ったり、庭先では季節ごとに咲き競う花々、プランター栽培の野菜等、散歩で行きかう方々の楽しみにもなっている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレは職員が頻繁に見回り、定期的に除菌、消毒、清掃を行っている。ホールは床暖房設置、上部窓の開閉で通気性も保たれている。キッチンからお互いに顔が見えるし、ソファの配置されゆったりした環境でくつろげるよう工夫している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内は各自の椅子のほか、3人掛けのソファも用意され利用者同士で談笑する毎日です。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある家具や身の回り品、衣服の持込で従前の生活の継続を大切にしている。各自の好みにあわせ、フローリングに畳を敷き、和室感覚にしたり工夫して過ごせるよう配慮している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を頻繁にし、エアコン掃除等もこまめに行い、温度調節も常に気配りしている。居心地よい環境に配慮しているので空気のだよみはない。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	前面バリアフリーとし、手すりの設置も行き渡り、夜間はフットライトも設置され、トイレへの安全確保に配慮し、できるだけ自立した生活が送れるよう改善工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の扉に表札がつけられている。トイレ誘導にも矢印で工夫するなど自立支援に配慮している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花を植えたり、野菜を育てたり、併設の小規模多機能ホームの庭の植物に話題が集まったりと楽しみを共感している。また、ホールからめにする季節の移ろいも楽しみである。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

【千葉県】グループホーム 双葉

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)